

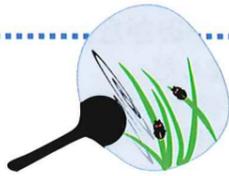
ヨコ顔

会員が順次登場します

佐藤夫妻(忠史さん、典子さん)
子供の成長期、一緒にパンを作った仲間。この中心にいたのが典子さん。発足と同時にこの仲間たち全員入会。まずご主人、次にお姉さん、近くへと輪を拡げて応援。毎年家族でホタル観賞し「私も飼育したい」と、周囲をびっくりさせたお孫さんはもう大学生。ところが悔しい！典子さんは今年5月、黄泉の国へ。



残された忠史さんは家事、料理はさっぱりですがPCで猛勉強。ネットで肉や野菜を注文、ワインの友は習得したという。囲碁、将棋、カラオケ、野鳥観察に落語観賞と趣味は豊富。一人暮らしへ力強く踏み出しました。(ひじかた)

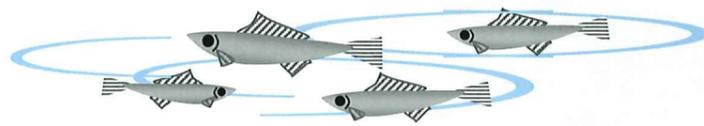


2023秋~2024春 主な行事予定

ゴミ拾いウォークの集合場所は「ホタルの里」です。
終了後、現地解散(1Pの地図参照)
土曜朝の散歩をかねて、どなたでも気軽にご参加ください。

- 23/09/23 (土)09:00~10:00 ゴミ拾いウォーク
- 23/10/28 (土)09:00~10:00 ゴミ拾いウォーク
- 23/11/11 (土) **ESD事業 折戸川 GOMI 拾い大会**
10:00:00~11:30 (10月広報で募集します)
- 23/12/23 (土)09:00~10:00 ゴミ拾いウォーク
- 24/01/27 (土)09:00~10:00 ゴミ拾いウォーク
- 24/02/24 (土)09:00~10:00 ゴミ拾いウォーク
- 24/03/09 (土)09:00~10:00 ゴミ拾いウォーク
- 24/03/中下旬 幼虫放流会(2月広報で募集予定)

2024年度の予定はHPでご確認ください



ワンコインBOX

ポケットのバラ銭をかき回しながら、「あった！」と、大きなコインを投入した二人の大学生。折戸川ホタル初めて知りGoogleで探してきた、素晴らしい！スマホ決裁の増える中、予想以上のコインが集まり感謝、感激！今年もホタルだより21号が発行できました。

(編集室)

応援団(会員)募集中

年会費 1000円

お近くの会員に声をかけてください。
ホタル便りをお届けします。

【連絡先】折戸川にホタルを飛ばそう会

代表:後藤和正 電話 0561-72-3158



初ホタル(5/5)

編集後記

昨年は狭いホタルの里に一晚1000人以上のファンが押し掛け、スタッフは青くなりました。今年はHPのホタル情報を制限、市役所の駐車場を勧めたり、折戸川全域に舞っていることを宣伝したり、小学校への出前授業をシーズンOFFに変更しました。

もう1つ、ホタルの里案内と駐車場の整理要員(3名)を募集したところ、十数名が手を挙げてくれました。事故なく楽しく観賞できたのはこのボランティアの方々のお陰であります。そんな思いを抱きながら編集しました。

編集長 土方博(0561-72-2027)

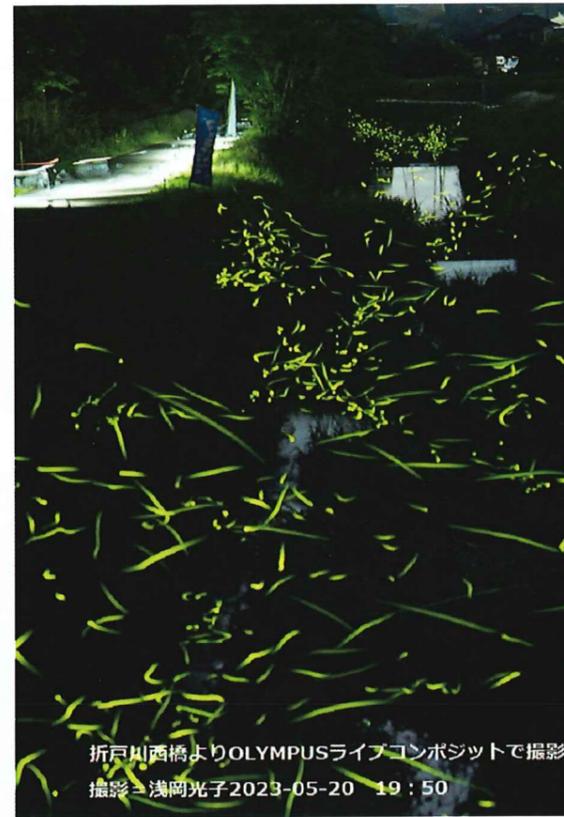
PC編集 飯塚満智子

編集委員 義夫 昌子 光子 ひとみ

ホタルだより

from 折戸川にホタルを飛ばそう会

(愛知県日進市) 第21号:2023/9/1不定期刊行



折戸川西橋よりOLYMPUSライブコンボジットで撮影
撮影:浅岡光子2023-05-20 19:50



11月1日 飛んでいます



ホタルが追いかけてっこしている

初めてホタルの里を知ったのは、ホタルの幼虫放流会取材した時。子どもたちのキラキラした表情と「ホタルさん大きくなってね〜！」という可愛い声を覚えている。あの時の幼虫たちは成長したらどんな景色を見せてくれるのだろうか。気になってホタルが飛ぶ季節になった頃、飛び始めの合図だという青い旗を目印にホタルの里を訪れた。目の前に広がる優しい光のゆらめきの数々。観たことのない数のホタルが、ふんわりふんわり乱舞する様子に大人ながら感動した。日進にこんな素敵な景色が観られる場所があるなんて！ホタルの里からホタルを見つけながら北に歩き、通称「ホタル橋」にも訪れた。

自然発生したホタルが追いかけてっこしている。「あそこにもいた！」「あっち光ってる！」あの時そんな会話をしたパートナーとは結婚し、毎年一緒に感動の景色を楽しみにホタルの里を訪れる。そして今年は誕生したばかりの4カ月の我が子と一緒にホタルを見ることができた。この子の人生初めてのホタルの光。来年は自分の足でその光を追いかけているかもしれない。



高倉唯(CCNetキャスター)



にっしん ESD 事業



ESD とは持続可能な社会を目指す事業

3/15日

幼虫放流会

南部保育園



会員が9カ月育てたゲンジとヘイケの幼虫



園から歩いてホタルの里へ



年長児が参加、ホタルの幼虫の説明の後、興味を持って放流ができました。以前放流を体験した卒園児からはホタルを見に行つたと聞きました。貴重な体験ありがとうございました。

(南部保育園 園長先生)



ゲンジもヘイケも手にのせて観察できるのは ホタルの里だけかも!?

台風接近の雨を心配しながら、「ホタルの一生と川の環境」をビデオで学習



6/1日

ホタル観賞会



姉妹クラブ (仲間たち)

EC035 (エコサンゴ)

EC035 ホタル観賞会

2021年から本社ビオトープではヘイケボタルが自然発生しています。今年は5月9日からホタルが飛び始め、6月5日(月)に三五グループ従業員とその家族・知人を対象にホタル観賞会を開催しました。

当日は41名(大人28名、子供13名)の方が参加。ホールでホタルの生態や飼育方法を紹介し、その後ホタル小屋での飼育の説明と自然発生したヘイケボタル50~60頭の観賞を行いました。

参加者からは「小さな体で一生懸命光っているホタルをみて感動しました。ありがとうございました」との声があり、子供達はホタルの光をくいいるように見っていました。



(吉原義仁)

訪生まちづくり研究会

ゲンジボタルも飼い始めた

訪生にはまだ少しですが天然のヘイケボタルが棲息しています。折戸に通ううち、少数の天然ホタルから子孫を増やせるようになりましたが、今年は放流後のアクシデントでほとんど羽化せずという悲しい結果に。放流場所の環境整備はとても大事ですね。

欲張ってゲンジボタルも飼い始めましたが、今年は惨敗。1000頭ほど貰った初生幼虫は、放流日までに30頭にまで激減。5~6頭だけ成虫を見ることができましたが、種もとれず。今年度は師匠に幼虫と初期のエサまでわけていただいて出直となりました。めげずに頑張ります。この日拾ったゴミの中にうなぎ1匹見つけました。



(加藤志津香)

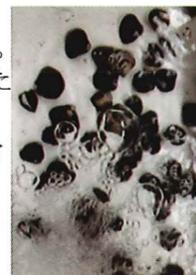
長久手みなみ里山クラブ

ホタルのエサはスーパーで

餌(エサ)の確保がメンバーの高齢化と猛暑で苦労しています。そこで涼しいスーパーで蜆(シジミ)を捕る事にしました。早速4パック購入したところ、全部腐って全滅してしまいました。次に水を張った蜆を探すとアピタにビックリする様な大粒なのがありました。"全部ください"と言うと店員さんがビックリ、こんなに高額に買う方は初めてですと言われました。アピタの蜆は全部元気に生きています。

子供の頃は近くの川で蜆採りをしたのですが、今の長久手の川にはほとんどいません。ホタルには天然物を食べさせてやれず、スーパー物で少し心苦しいです。

(水野浩)



しおみが丘保育園

ホタルが2回も飛んだ

しおみが丘保育園は名古屋市緑区にあります。今年は譲り受けた幼虫を経験豊かな先生を中心に育て上げ、園内のビオトープに放流しました。5月23日に1匹目のホタルを発見、次々に羽化、6月14日、15日に観賞会を開催して親子一緒にピカピカ光るホタルを楽しみました。

また、幼虫観察を長く続けるため、5歳児クラスは室内にも飼育セットを作り、世話しながら成虫になるのを待っていたところ、今日(7月26日)10匹見つけ、まず子供たちに報告したところ驚きと喜びの声が上がりました。これで3歳児クラスの子供にも見せることができました。

(桑山幸恵、深見博子)



ホタルの里の1本桜 ~桜がホタルの飛ぶ時期を教えてくれる



撮影:浅岡 光子

ホタルの会のリーダーは毎年、この桜が咲いたころの雨の日から数えてホタルの飛ぶ時期を予測します。桜が咲いた頃のしっかりとした雨の夜、ホタルの幼虫たちは上陸し、それから40~45日後に羽化、飛び始めます。来年は桜の頃の雨の日をメモし、皆さんもホタルの飛ぶ時期を予測してみたいはかがでしょうか?

蛍の授業に参加して

● 自然環境は繋がっている

ただ蛍の一生を追うのではなく、生きるためには綺麗な川が必要で、川を綺麗に保つにはどうすべきかと、環境保全にも絡めて教えてもらったのがよかったです。自然環境は全てつながっていますからね。3年生にも理解しやすい内容で蛍を通して自分たちが住む町についても知ることができ、とてもよい授業でした。(藤塚子供会・佐藤)

● 折戸川と共に育っている

かつては、日進市内にはたくさんの蛍が飛んでいたとのこと。子ども時代の蛍にまつわる美しく懐かしい思い出話を拝聴し、感動しました。日進市の子どもたちは折戸川と共に育っています。川を美しく保つことは、蛍を守ること、そして、次世代の子が心豊かに育っていくことに不可欠なことなのだと感じました。(藤塚子供会・青木)

産卵用ホタル 採取・回覧

来年用の卵を確保するため、私たちは飛んでいるホタルを少し採取します。子供さんが喜んで協力してくれます。瓶に入れたホタルを囲んで眺め、楽しむ姿はまた楽しい。ホタルの里まで観賞に来られない家庭に回覧することもあり、以下、感動コメントがありました。(編集室)

④ 届いた「ありがとう」メッセージ

① 田中リーダーが子供たちと種ボタルを集める

② ホタルの宝石ピンができる

③ ホタルの入ったピンが待っている人たちに回覧される

GOMI 拾い大会

今年もやります!

日にち

2023.11.11(土)

場所

ホテルの里

時間

10:00~11:30

家の周りや気になる所のゴミを各自で拾って、ホテルの里に集合。折戸川沿いでは、子供たちが小さなたばこの吸いながら大きな座椅子のゴミまで一生懸命みつめて拾ってくれた。笑顔はじける大会!(^_^)!

申し込み方法など詳しくは10月広報にしんをご覧ください!(中川)



昨年のGOMI拾い大会の様子

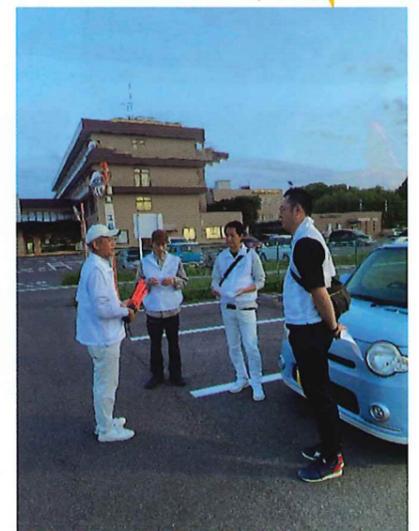


地域住民一帯で

年々、ホタル観賞客が増え、嬉しい悲鳴を上げるようになりました。今年はHPの掲載を制限したり、多くのマイカーを整理したり、ホタルの里へ案内人を配置しました。ここにボランティアで参加された方は十数名。本当にありがとうございました。以下、お二人からコメントを頂きました。(編集室)

★初めて駐車場案内のボランティアに参加させてもらい、日進だけでなく、他市町からも多くの方が観に来てに驚きました。今ではなかなか見ることが出来ない蛍を嬉しそうに眺めている子どもたちを見て、こういう場があり続けてくれることを願っています。(藤塚子供会・島川)

★三日間お手伝いに入らせていただきました。皆さんとても楽しそうにされていたのが印象的! 楽しく、そして事故なく観賞が行われるには、地域住民一体で作り上げていくことが肝要ですネ。(ささえあい藤塚・末廣)





にしん ESD 事業 小学校出前授業

ホテルの一生と川的环境



ホテルの幼虫から地球まで
探求心大きい!



相野山小 3年2クラス 40名



東小 3年3クラス 106名 質問の手が勢いよく上がる!



ホターマンに
何でも聞いて!

竹の山小
3年3クラス 99名
元気な挨拶
熱心な観察
質問もいっぱい!



南小 3年5クラス 162名 見て見て!このピンと上がった手の美しいこと!



赤池小 3年4クラス 143名
大きな声に元気をもらった!

ホテル博士も満足そう!

正解には大きな拍手!



西小 4年4クラス 112名 ホテルからSDGsまでたくさんの発言ありがとう!



北小 3年3クラス 92名 ホテルの知識はバッチリです



真剣な観察・幼虫かわいいよ



燃えるゴミかな?
プラスチックかな?



梨の木小 3年3クラス 104名 ゴミ分別ってゲームみたい

たのしい片付け隊